

大学教育再生加速プログラム(AP) 中間評価結果

整理番号	50	大学等名	福岡女子大学
テーマ	テーマⅣ 長期学外学修プログラム（ギャップイヤー）		

【総括評価】

B：一部で計画と同等又はそれ以上の取組もみられるものの、計画を下回る取組があり、本事業の目的を達成するには、助言等を考慮し、一層の努力が必要である。

【コメント】

<優れている点>

- ・従来実施している初年次教育及び全寮制教育に加え、本事業で新たに「地域共創論」を導入し、1年次における長期学外学修の基盤教育を提供していることは評価できる。
- ・専任スタッフの採用を含めた「AP 推進室」を設置し、全学的視野から運営していることは評価できる。
- ・国内外での長期学外学修プログラム「Expanding Your Horizons (EYH)」を教育課程の中に組み込み、体験学習科目として単位認定を行っている。EYH プログラム参加学生に対しては授業外での事前・事後学修を集団・個別で実施するなど、効果的な運営がなされており、評価できる。また、EYH プログラム受講者を学生サポーターとして活用する体制も評価できる。

<改善を要する点>

- ・事業目標のうち、長期学外学修プログラム及び本事業以外の各種プログラム参加学生が目標値を超えている一方で、授業外学修時間に増加は見られない。今後の改善が必要である。
- ・本取組における学長のリーダーシップや、取組の中核組織である「AP 推進室」及び「AP 推進会議」がどのようなメンバーで構成され、どのような関係・意志決定のもとで事業が進められているのか、中間評価調書からは明確に読み取ることができない。また、評価体制として、様々な組織が関わっているが、各所が得たデータをどこがどのように集約し、改善に生かしていくのかといった全体の流れが不明である。事業の実施体制については、より明確に示していく必要がある。
- ・補助期間終了後の見通しについて、各種プログラムの学部共通教育及び専門教育における継続的・発展的な運用体制が不明である。また、資金面での継続性についても、学内資金により専任教員等を継続配置するのか、それとも、選定時に付された留意事項への対応において記載されたように、専任教員のノウハウを学科等の専任教員に移行させるのか、方針が不明であるため、改めて検討する必要がある。